

# 資料1

## 非稼働病床についての今後の計画

稲沢市民病院

### 1 これまでの経緯

現病院は、平成26年11月に、それまでの許可病床392床から72床を削減した320床で新築移転しました。しかし当初は2病棟を休床した228床で開院いたしました。

当初の計画では、医師や看護師を確保し、平成28年度と平成31年度にそれぞれ1病棟を稼働する予定でありました。

平成28年4月には当初の予定通り1病棟46床を稼働しましたが、残り1病棟46床については、予定していた今年度中の病床稼働は不可能な状況です。

なお、新築移転時には全病棟が急性期病棟でしたが、平成28年3月には1病棟46床を地域包括ケア病棟に機能変更し、平成30年12月には1病棟10床を高度急性期病棟に機能変更しています。

### 2 非稼働病床について当院の考え

当院の医師・看護師などの診療体制が今後大きく変化する可能性は小さく、現在のベッド稼働率なども考慮し、当面は現在休床中の病棟を急性期病棟として稼働させることは困難であると考えます。

29年度に作成した新改革プランでは、稼働に向けた課題を示しながら、その機能に関しては、圏域全体の中で当院の担う役割を見極めていくとしています。

回復期リハビリ、地域包括ケア病棟は本来民間病院が担うべきではないか、という意見もありますが、地域医療構想の議論の中で、今後当医療圏において特定の回復期機能の病床の不足が明らかになった場合には、開院以来休床中の病床を回復期機能で稼働していきたいと考えています。

	計画時	2014年11月-	2016年3月-	2016年4月-	2018年12月-	2019年10月-
病床数	320					
病棟数	8	6	6	7	7	6
一般急性期	7	5	4	5	5	4
地域包括ケア病棟			1	1	1	1
HCU(10)	1	(1)	(1)	(1)	1	1
運用ベッド数	320	228	228	274	274	235
6北	41	41	41	41	41	41
南	46	46	46	46	46	46
5北	46	46	46	46	46	46
南	46	46	地域46	地域46	地域46	地域46
4北	46					
南	46			46	46	46
3北	39	39	39	39	39	
南	HCU 10	一般 10	一般 10	一般 10	HCU 10	HCU 10
	320	228	228	274	274	235